

朝日連峰・竜門山～大朝日岳

山行日：7月20～22日

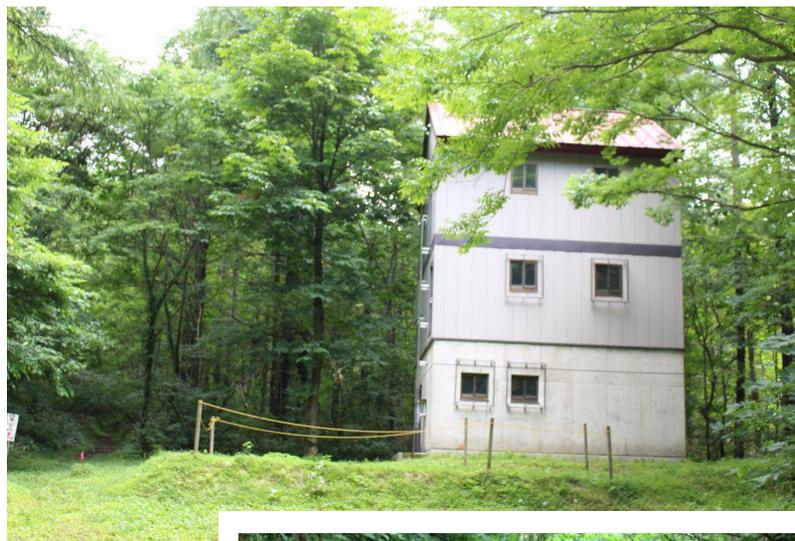
記：TI

コース：①自宅4:37—東北道・福島飯坂 IC—長井—左沢—日暮沢 P1 4:30/55…日暮沢小屋1 5:10（泊）②日暮沢小屋5:50…ゴロビツ水場…清太岩山9:00/40…竜門山分岐1 1:18/30…竜門避難小屋1 1:40（泊）③竜門避難小屋4:58…竜門山分岐5:12/15…西朝日岳6:20/30…大朝日避難小屋8:20/25…大朝日岳8:35/40…大朝日避難小屋8:50/9:21…古寺山1 1:15/25…ハナヌキ峰分岐（日暮・古寺分岐）1 2:20/25…日暮沢小屋1 4:30/35…林道P1 4:50—自宅23日6:00 同行者1名

その他：避難小屋宿泊1500円/1人、ビール350mm800円、梁川温泉入浴300円、自宅—登山口往復932km



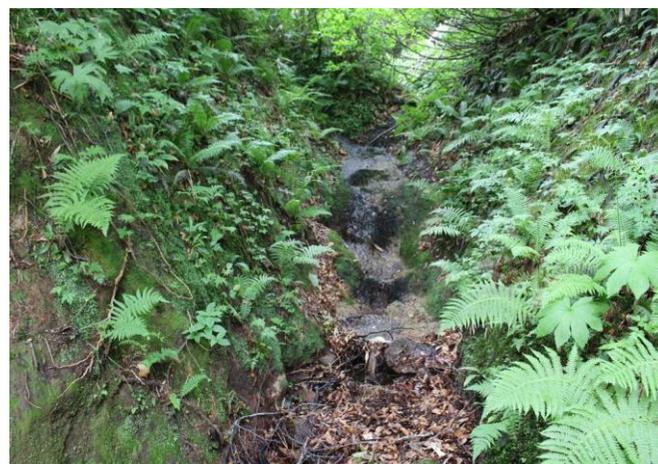
日暮沢小屋まで15分の地点に車を止める。



横浜から一日かけてようやくたどりついた登山口、数年前には小屋の前まで車が入れたそうだが、大雨による林道崩壊により×となり、駐車場所から15分の歩きとなる。その昔はバスも入っていたという。



←日暮沢小屋の水場



尾根中間にあるゴロビツの水場、チョロチョロの流れも命の水。登山道から50ほどにある。



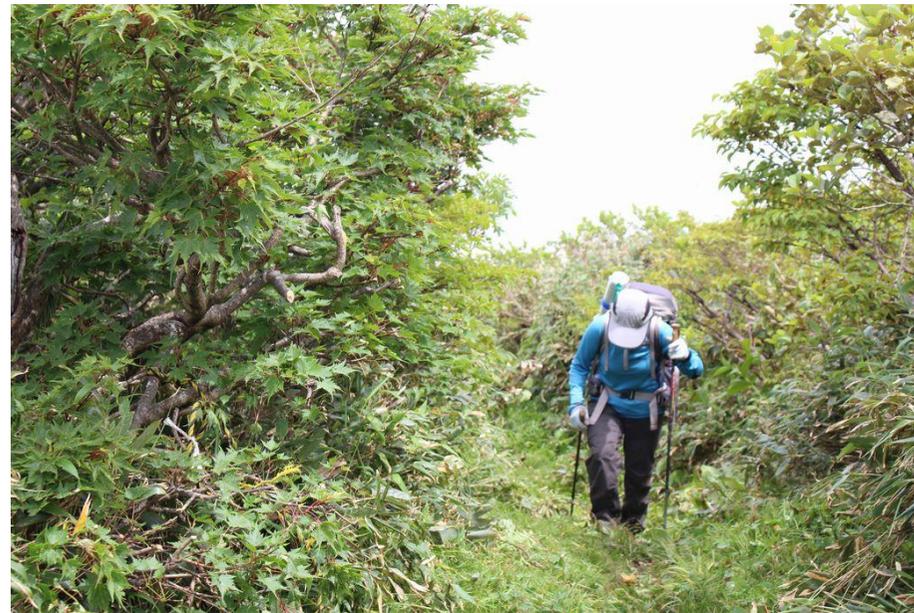
ヒメコマツとブナの大木の尾根、熊除けの鈴と笛必携！



登山口から
3時間よう
やく樹林帯
を抜け、清太
岩山146
4mに出る。
晴れていれ
ば以東岳へ
続く稜線が
目えたのだ
が、残念な
がら何も見
えない！



竜門分岐、左へ行くと大朝日岳です。今日の泊まり場へ15分です。



雲に追われ展望のない尾根をようやく竜門到着しました。



左上：小屋を真下に見る。
右上：その竜門避難小屋
25年前に泊まった小屋と
は向きが違っていた。以前
は平屋でした。2代前とい
うことです。

アヒルが見守る冷たい飲み物 800円支払いご自由に！



2階内部です。非常にきれいでした。トイレは水洗！



竜門小屋より岩井又沢の谷をみる。遠くは飯豊の山々



寒江山や相模山、大上戸山を望む



竜門山



残念ながら
これ以上の
展望は得ら
れず。
昨日は晴れ
ていたそう
で、月山、飯
豊が良く見
えたという。



越えてきた西朝日岳



金名水付近で見られた青空！ 後にも先にも青空が見えたのはこの一瞬のみでした。



大朝日岳山頂、相変わらず展望なし？



大朝日岳避難小屋
ここには水場は無い、
金名水まで下ると長寿
の水が溺れるくらい飲
めます。



山頂から小屋へ



小屋前でランチタイム後、長い下りへ



熊除けの鐘ではありません



金名水付近から見る
大朝日岳と左肩に小屋
が見える。この状
態よりよくはならな
かった。



金名水付近のニコウキスゲ群落



小寺山



三沢清水



ハナヌキ峰分岐、ここで小寺鉱泉への道と分かれ、1時間30分の急降下、膝が痛くなる頃ようやく根子川沿いに降り立つ。林道30分歩き昨日の日暮沢小屋に着いた。

残るは横浜への長い道のりがある。

*花の写真は別ファイルへ載せます。